

事務事業名	点字図書館運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	02	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	身体障害者福祉法に基づき、視覚障がい者への情報提供を行うとともにボランティアの育成を行う。						
対象	1. 個人	市内在住, 在勤, 在学の視覚障がい者			約	790	人
根拠法令等	法律等	身体障害者福祉法					
事業実施内容	1. 視覚障がい者への図書の製作・貸出 (1)図書製作数 点字 24点 デイジー 44点 (2)図書利用数 点字 756点 テープ 149点 デイジー 20,626点 2. ボランティアの育成事業 (1)ボランティア基本講習会修了者 12人 (2)誘導講習会その他各種研修会等受講者 104人 3. 文化レクリエーション等活動援助 (1)教養講座参加者数(ボランティア含む) 延べ 118人 (2)視覚障がい者IT講習会・パソコン教室参加者 延べ27人 4. 点字指導 視覚障がい者3人						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委 託 先 : 藤沢市点訳奉仕会, オフィスビジュアル21) (委 託 等 内 容 : 視覚障がい者指導事業, 点字図書校正業務委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負 担 金 : 日本盲人社会福祉施設協議会ほか5団体) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 10,155 千円	事業費節別内訳		主な事業内容										
		費 目	支出済額 (千円)											
		報酬	4,453 千円		点字指導員報酬									
		需用費	1,985 千円		点字・録音図書製作用図書購入, 機関誌点字版印刷									
		使用料及び賃借料	1,600 千円		ノートパソコン賃借料, 電子複写機賃借料									
財源内訳	R元年度 支出済額 10,155 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和元年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>4.00</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6.00</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		令和元年度	正規職員等	4.00	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	2.00	合計	6.00
			令和元年度											
		正規職員等	4.00											
		再任用短時・任期付短時職員	0.00											
		非常勤職員	2.00											
合計	6.00													
費 目	支出済額 (千円)													
分担金・負担金														
使用料・手数料														
国庫支出金	10,155 千円													
県支出金														
その他 ()														
一般財源														

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	52,605	47,938	48,530	49,065			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	49,331	48,943	48,961	49,030			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	6,295	5,823	5,962	5,702			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	43,036	43,120	42,999	43,328			
	①職員給与合計(常勤)	36,404	36,876	36,668	36,564			
	②報酬合計(非常勤)	4,454	4,453	4,454	4,453			
	③退職金相当額	2,178	1,791	1,877	2,311			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,274	-1,005	-431	35			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	3,274	-1,005	-431	35				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	123.75	425,105	112.14	427,501	113.04	429,317	113.30	433,060

成果実績	指標名	点字図書館登録者数	目標	260	単位	270	単位	235	単位	245	単位
			実績	272	単位	230	単位	236	単位	233	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			視覚障がい者が図書・インターネット等で情報を入手できる環境を提供することで、視覚障がい者の自立や社会参加並びに生活・文化の向上に寄与した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			193,400.74	208,426.09	205,635.59	210,579.40					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	対象者数に対し登録者の割合が約30%と低く，利用につながっていない対象者が多い。視覚障がい者や家族が点字図書館の存在を知らないことが大きな理由と考えている。
(2)	(1)解決のための今後の取組	広報ふじさわや図書館ホームページ等で点字図書館(事業)の周知を図る。また4市民図書館と連携した事業を実施するなど図書館を通じた周知活動を実施し，家族や友人を介して点字図書館の存在を知ってもらう。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	点字図書館利用者に対しては，点字・録音図書の製作や貸出など読書環境の充実を図ることができている。また点字指導やIT講習会など視覚障がい者の自立や社会参加の機会を創出し，生活・文化の向上に寄与することができた。ボランティアについては，基本講習会・各種専門講習会を開催し養成を行った。ボランティアの協力により点字図書館事業の円滑な運営が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	点字・録音図書の製作や貸出については，継続して実施する。点字指導やIT講習会等事業については，今後もニーズを把握しながら適切に事業を進める。各種行事については，利用者に参加の意欲を持ってもらえる内容を考える。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
53	点字図書及び録音図書の製作，収集及び整理に関すること	無	無	1	1
54	点字図書及び録音図書の貸出しサービスに関すること	無	無	1	
55	点字ボランティア及び録音ボランティアの育成指導並びに各奉仕会との連絡調整に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	4市民図書館及び11市民図書室の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	・清掃・警備・設備機器の保守等により快適な利用環境の維持に努めた。 ・4図書館及び11市民図書室の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢建物環境管理協同組合, 日軽) (委託等内容 : 清掃・警備・設備機器の保守事業, 図書の搬送) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 日本図書館協会, 神奈川図書館協会) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 304,734 千円	事業費節別内訳		主な事業内容										
		費目	支出済額 (千円)											
		報酬	170,073 千円		図書館協議会委員報酬, 図書業務員報酬									
		委託料	75,276 千円		施設総合維持管理, 図書整理装備, 資料等搬送業務委託									
		需用費	19,332 千円		物品修繕, 施設修繕費, 電気代, 上下水道代ほか									
		賃金	23,626 千円		短時雇用職員賃金									
財源内訳	R元年度 支出済額 304,734 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>10.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>63.63</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>74.13</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		令和元年度	正規職員等	10.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	63.63	合計	74.13
			令和元年度											
		正規職員等	10.50											
		再任用短時・任期付短時職員	0.00											
		非常勤職員	63.63											
		合計	74.13											
費目	支出済額 (千円)													
分担金・負担金														
使用料・手数料	609 千円													
国庫支出金														
県支出金														
その他 (繰入金・諸収入)	1,713 千円													
一般財源	302,412 千円													

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	436,116	446,842	435,123	438,570			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	404,742	417,658	402,998	406,781			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	140,194	149,477	135,495	134,811			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	264,548	268,181	267,503	271,970			
	①職員給与合計(常勤)	93,950	98,259	96,254	95,981			
	②報酬合計(非常勤)	165,153	165,446	166,323	169,923			
	③退職金相当額	5,445	4,476	4,926	6,066			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	31,374	29,184	32,125	31,789			
	①減価償却費	31,697	31,697	31,697	31,697			
②退職給与引当金繰入額	-323	-2,513	428	92				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1025.90	425,105	1045.24	427,501	1013.52	429,317	1012.72	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 図書館利用者へ快適な利用環境と、映画会やおはなし会、読書週間などの各種事業への参加機会を提供している。2. 図書館利用により、市民に充実した時間、知識情報、視野の拡大、豊かな生活等の満足感を与えている。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	4市民図書館及び11市民図書室の質の高い図書館サービスの向上。 老朽化した総合市民図書館の緊急性の高い施設・設備修繕等の増加。
(2) (1)解決のための今後の取組	限られた予算の中で、緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し、安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	総合市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め、安全で快適な利用環境と質の高い図書館サービスを提供した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	引き続き緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施することにより、安全・快適な利用環境を整備し、図書館サービスの拡大・向上に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
4	施設の運営管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2
8	図書業務員・臨時職員の任用及び業務管理に関すること	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出し、管理に関すること	無	無	1	
11	施設使用料等公金の徴収及び管理に関すること	無	無	2	3
13	行政財産目的外使用料収納事務に関すること	無	無	1	1
48	図書館協議会委員の任用に関すること	無	無		3
49	図書館協議会の開催に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	南市民図書館等運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	02	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設及び維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設を行い, 適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (有)工匠) (委託等内容 : 暫定移設先清掃業務) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 暫定移設先全館設備管理費負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 170,739 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		使用料及び賃借料	124,571 千円	暫定移設先賃借料, 暫定移設先敷金
		負担金補助及び交付金	21,680 千円	暫定移設先全館設備管理費負担金
		役務費	15,167 千円	暫定移設席への移転作業代, LAN敷設作業
		需用費	4,996 千円	暫定移設分事務用品, 図書館装備用消耗品
その他	4,325 千円	南市民図書館等清掃委託, 備品購入費(返却ポスト)		
財源内訳	R元年度 支出済額 170,739 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (諸収入)	18 千円			
一般財源	170,721 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	38,240	47,846	22,962	193,206			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	36,785	40,306	24,387	190,176			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,614	11,306	9,176	170,739			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	25,171	29,000	15,211	19,437			
	①職員給与合計(常勤)	24,082	27,657	14,742	18,282			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	1,089	1,343	469	1,155			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,455	7,540	-1,425	3,030			
	①減価償却費	4,923	4,923	4,923	0			
	②退職給与引当金繰入額	-3,468	2,617	-6,348	3,030			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	89.95	425,105	111.92	427,501	53.48	429,317	446.14	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設を維持・管理するための事業であるため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	来年度のNPO法人への円滑な運営の移行を目指し，現在，辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務を委託しているNPO法人と連携するとともに，職員の勤務場所が異なるため，日常における設備等の状況把握や故障や不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	NPO法人による南市民図書館の運営を検証する。 南市民図書館について，総合市民図書館の支援機能の強化を図り，安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	暫定移設が滞りなく行われた。 円滑な運営を行うために，適切な施設の維持管理に努め，安全で快適な環境を市民に提供することができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	円滑な運営を行うために，適切な施設の維持管理に努め，安全・快適な環境を市民に提供する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	辻堂市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	03	課等の長	市川雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	辻堂市民図書館の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	辻堂市民図書館の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社) (委託等内容 : 視聴覚機器の保守点検) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,326 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,092 千円	施設修繕, 電気代, 上下水道代
		使用料及び賃借料	587 千円	コピー機, 視聴覚機器, ビジネスホン賃借料
		委託料	495 千円	視聴覚機器設備保守点検
財源内訳	R元年度 支出済額 9,326 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	9,326 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	30,040	32,801	31,674	30,375
	(1)現金を伴う支出 (千円)	13,862	15,730	15,543	14,186
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,933	10,896	10,724	9,326
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	1,929	4,834	4,819	4,860
	①職員給与合計(常勤)	1,820	4,610	4,584	4,571
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	109	224	235	289
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	16,178	17,071	16,131	16,189
	①減価償却費	16,185	16,185	16,185	16,185
	②退職給与引当金繰入額	-7	886	-54	4
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	70.66	76.73	73.78	70.14	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設を維持・管理するための事業であるため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-								

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	運營業務を委託しているNPO法人と連携し，施設・設備の維持管理に努めているが，職員の勤務場所が異なるため，日常における施設等の状況把握や故障や不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	引き続き，NPO法人による辻堂市民図書館の運営を検証する。 総合市民図書館の支援機能の強化を図り，緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し，安全・快適な利用環境の整備に努める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	辻堂市民図書館の円滑な運営を行うために施設の維持管理に努め，安全で快適な利用環境を市民に提供した。維持管理についてNPO法人との連絡を密にするよう努めた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	辻堂市民図書館の適切な維持・管理のため，緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し，安全・快適な利用環境の整備に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南大庭市民図書館運営管理費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	04	課等の長	市川雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館の維持管理・運営を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	湘南大庭市民図書館の適切な利用環境を整備することにより, 多様化する利用形態に応え, 利用者サービスの拡大・向上に努めた。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : テクノ矢崎(株)) (委託等内容 : 冷温水発生機保守点検業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,639 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	7,963 千円	消耗品購入, 施設修繕, 光熱水費
		役務費	180 千円	電話料, ごみ処理費用
		委託料	413 千円	冷温水発生機保守点検
使用料及び賃借料	1,083 千円	電子複写機, BDSシステム, 視聴覚機器等の機器賃借		
財源内訳	R元年度 支出済額 9,639 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	9,639 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	30,521	32,321	30,364	30,666			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,747	15,988	14,634	14,878			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,774	9,637	8,872	9,639			
	償還金利息	2,080	1,517	943	379			
	人件費合計(①+②+③)	2,893	4,834	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	2,730	4,610	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	163	224	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	15,774	16,333	15,730	15,788			
	①減価償却費	15,784	15,784	15,784	15,784			
②退職給与引当金繰入額	-10	549	-54	4				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	71.80	425,105	75.60	427,501	70.73	429,317	70.81	433,060

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館機能を維持・管理するための事業であるため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	運營業務を委託しているNPO法人と連携し，施設・設備の維持管理に努めているが，職員の勤務場所が異なるため，日常における施設等の状況把握や故障や不具合が発生した際の適切な判断及び迅速な対応が課題である。
(2) (1)解決のための今後の取組	引き続き，NPO法人との連携・情報共有を図りながら，総合館の支援機能を強化していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	円滑な図書館運営を行うために，適切な施設の維持管理に努め，安全で快適な環境を市民に提供することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	湘南大庭市民図書館の適切な維持・管理のため，緊急性・優先度の高い施設・設備の修繕等を実施し，安全・快適な利用環境の整備に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1
6	視聴覚機器の維持管理及び修繕	無	無	1	
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	図書館情報ネットワーク事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	05	課等の長	市川雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	藤沢市図書館情報ネットワークシステムの維持管理及びインターネット予約等による利用者サービス向上と県内公立図書館, 市内4大学図書館との協力体制を推進する。						
対象	1. 個人	市民				433,060	人
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 図書館サービスを遂行するための図書館コンピュータシステムの保守管理及び賃貸借を行った。 インターネット検索・予約環境を整備した。 図書館ホームページによる最新の情報提供と利便性の向上に努めた。 市民図書室にパソコンを設置して, 図書室からの4市民図書館の資料検索を可能とし, レファレンスに対応した。 総合市民図書館の新聞・雑誌等のデータベース記事検索の環境を整備した。 県内公立図書館, 市内4大学(慶応義塾大学, 日本大学, 湘南工科大学, 多摩大学)の図書館との協力体制を維持した。 						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 35,997 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	999 千円	プリンターカートリッジ等消耗品費
		使用料及び賃借料	34,998 千円	コンピュータシステム機器賃借料
財源内訳	R元年度 支出済額 35,997 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他(繰入金)	772 千円			
一般財源	35,225 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	48,222	36,768	36,546	45,725
	(1)現金を伴う支出(千円)	48,255	37,019	36,654	45,716
	事業費(支出済額-②報酬合計)	38,610	27,352	27,018	35,997
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	9,719
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	9,141
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	544	448	469	578
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-33	-251	-108	9
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-33	-251	-108	9
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	113.44	86.01	85.13	105.59	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	インターネット予約件数	目標	490,000	単位 件	480,000	単位 件	480,000	単位 件	480,000	単位 件
			実績	475,526	単位 件	462,738	単位 件	450,497	単位 件	462,465	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		図書館資料の検索や予約などのサービスをインターネットを通じて利用することができる図書館情報システムの維持管理を行うことで、市民の豊かな生活に貢献し								
実績1		単位あたりの総費用 A/実績 (円)		101.41		79.46		81.12		98.87	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	図書館情報システムを導入している4市民図書館に対し，11市民図書室はオンライン化ができていない。そのため，図書館利用者と図書室利用者の利便性やサービスに差が生じている。
(2) (1)解決のための今後の取組	図書館情報システム管理体制の維持及び11市民図書室オンライン化について引き続き検討を行っていく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館情報ネットワーク・コンピュータシステムにより，快適な利用環境と最新の情報を提供することで，市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	図書館情報ネットワークシステムの適切な運営と維持管理により，多様化する利用形態に応え，利用者サービスの拡大・向上に努める。11市民図書室のオンライン化については，システムの運用方法等に検討の余地があるが，市民の利便性向上のために引き続き検討していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
9	図書館コンピュータシステムの維持管理に関すること	無	有	3	3
36	大学図書館との相互利用に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館市民運営費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	06	課等の長	市川雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営業務をNPO法人に委託する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	これまで図書館業務に携わってきた図書業務員を中心として組織されたNPO法人に, 図書館運営業務を委託することにより, 辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の図書館サービス業務を実施した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : NPO法人 市民の図書館・ふじさわ) (委託等内容 : 図書館運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 139,779 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	139,779 千円	図書館運営業務委託
財源内訳	R元年度 支出済額 139,779 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	139,779 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	147,028	146,297	148,610	149,507			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	147,061	146,548	148,718	149,498			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	137,416	136,881	139,082	139,779			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	9,719			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	9,141			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	448	469	578			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	-251	-108	9			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-33	-251	-108	9			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	345.86	425,105	342.21	427,501	346.15	429,317	345.23

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	NPO法人に運営業務を委託している辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館について、総合館からの連絡及び支援体制の強化。
(2) (1)解決のための今後の取組	NPO法人による辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の運営について引き続き検証しながら、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行う。総合市民図書館の支援機能を引き続き検証する。NPO法人による図書館運営の今後の課題を整理する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況を検証した結果、適正に運営されている。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	図書館サービス業務の一部をNPO法人に委託することにより、NPO法人の特色を生かした地域特性を生かした事業展開と、利用者に充実した質の高い図書館サービスを提供し、効率的・効果的な図書館運営と図書館サービスの充実を図る。 また、南市民図書館についても、辻堂、湘南大庭両市民図書館同様に、外部資源を活用した業務運営を行っていくこととする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
5	図書館サービス業務委託及び執行管理に関すること	無	無	3	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	善行市民図書室整備事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	07	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	令和 元 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	再整備する善行市民センター・公民館内に開室する善行市民図書室の快適な利用環境を整備し、利用者サービスの向上を図る。						
対象	1. 個人	市民			433,060	人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	移転する善行市民図書室の利用環境を整えるため、備品等を整備する。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 1,715 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,491 千円	善行市民図書室開室準備用消耗品
		備品購入費	224 千円	善行市民図書室開室準備用備品
財源内訳	R元年度 支出済額 1,715 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	1,715 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A				8,085
	(1)現金を伴う支出 (千円)				6,575
	事業費(支出済額-②報酬合計)				1,715
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)				4,860
	①職員給与合計(常勤)				4,571
	②報酬合計(非常勤)				0
	③退職金相当額				289
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				1,510
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				1,510
	③不納欠損額				0
④その他 ()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)					18.67 433,060

成果実績	指標名	-	目標						-	単位
	実績								-	単位
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			快適な読書環境を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	再整備する善行市民センター・公民館内に移転する善行市民図書室の備品等を整備し、快適な読書環境を提供できた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	本事業は令和元年度で完了となるが、今後は総合市民図書館運営管理費の予算内で消耗品を整備し、快適な読書環境を提供する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1
7	備品・消耗品の購入及び在庫管理に関すること	無	無	1	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	南市民図書館等移設事業費(繰越分)										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	08	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館及び市民ギャラリーについて暫定移設を行うために、移設先の工事を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	南市民図書館及び市民ギャラリーの暫定移設工事にかかる負担金。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 南市民図書館等暫定移設工事負担金) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額	事業費節別内訳		主な事業内容		
	249,480 千円	費目	支出済額(千円)			
		負担金補助及び交付金	249,480 千円		南市民図書館等暫定移設工事負担金	
財源内訳	R元年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)		
	249,480 千円	費目	支出済額(千円)			
		分担金・負担金			令和元年度	
		使用料・手数料			正規職員等	0.50
		国庫支出金			再任用短時・任期付短時職員	0.00
		県支出金			非常勤職員	0.00
	その他(地方債)	132,200 千円	合計	0.50		
	一般財源	117,280 千円				

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A			0	255,850
	(1)現金を伴う支出 (千円)			0	254,340
	事業費(支出済額-②報酬合計)				249,480
	償還金利息				0
	人件費合計(①+②+③)			0	4,860
	①職員給与合計(常勤)				4,571
	②報酬合計(非常勤)				0
	③退職金相当額				289
	(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	1,510
	①減価償却費				0
②退職給与引当金繰入額				1,510	
③不納欠損額				0	
④その他()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)				0.00 429,317	590.80 433,060

成果実績	指標名	-	目標				単位	-	単位
	実績						単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		バリアフリー環境が整備された南市民図書館を市民に提供することができた。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	工事が適正に行われた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	完了	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
3	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南大庭市民図書館整備事業費(繰越分)										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	001	説明	09	課等の長	市川雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 30 年度	終了(予定)年度	令和 元 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館館内照明のLED化						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	湘南大庭市民図書館開架フロア照明LED化工事を行う。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 14,520 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		工事請負費	14,520 千円	館内照明LED化工事
財源内訳	R元年度 支出済額 14,520 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他(地方債)	10,800 千円			
一般財源	3,720 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.20
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
コスト 支出	行政費用 A			0	17,068	
	(1)現金を伴う支出 (千円)			0	16,464	
	事業費(支出済額-②報酬合計)				14,520	
	償還金利息				0	
	人件費合計(①+②+③)			0	1,944	
	①職員給与合計(常勤)				1,828	
	②報酬合計(非常勤)				0	
	③退職金相当額				116	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	604	
	①減価償却費				0	
	②退職給与引当金繰入額				604	
	③不納欠損額				0	
	④その他()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)			0.00	429,317	39.41	433,060

成果実績	指標名	-	目標			-	単位	-	単位
			実績			-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		経年劣化した照明器具の工事のため目標指標ができない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	館内照明をLED化して事業終了となったため，課題等なし。
(2) (1)解決のための今後の取組	なし。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	館内照明LED化の工事が適正に行われた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	工事完了のため，事業終了とする。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	施設の維持管理に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	総合市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	総合市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 21,065 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	19,886 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
		備品購入費	1,179 千円	新聞のマイクロフィルム購入
財源内訳	R元年度 支出済額 21,065 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金)	3,181 千円			
一般財源	17,884 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	2.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	2.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	50,646	47,157	45,188	45,383
	(1)現金を伴う支出 (千円)	50,727	47,785	45,457	45,362
	事業費(支出済額-②報酬合計)	23,673	23,618	21,366	21,065
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	27,054	24,167	24,091	24,297
	①職員給与合計(常勤)	25,693	23,048	22,918	22,853
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	1,361	1,119	1,173	1,444
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-81	-628	-269	21
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-81	-628	-269	21
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	119.14	110.31	105.26	104.80	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	総合市民図書館資料購入数	目標	12,100	単位 点	12,200	単位 点	11,200	単位 点	10,800	単位 点
			実績	12,236	単位 点	12,196	単位 点	11,206	単位 点	10,871	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		4,139.10		3,866.60		4,032.48		4,174.68			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	南市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 62 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	南市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 8,910 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	8,910 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R元年度 支出済額 8,910 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金)	1,585 千円			
一般財源	7,325 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	19,435	19,305	18,354	12,268			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,468	19,556	18,462	13,770			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	9,823	9,889	8,826	8,910			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	448	469	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	-251	-108	-1,502			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-33	-251	-108	-1,502				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	45.72	425,105	45.16	427,501	42.75	429,317	28.33	433,060

成果実績	指標名	南市民図書館資料購入数	目標	6,500	単位 点	6,400	単位 点	5,800	単位 点	5,700	単位 点
			実績	6,467	単位 点	6,371	単位 点	5,844	単位 点	5,700	単位 点
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,005.26		3,030.14		3,140.66		2,152.28			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	辻堂市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	03	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	辻堂市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,749 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	9,749 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R元年度 支出済額 9,749 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金)	1,615 千円			
一般財源	8,134 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	11,235	11,842	10,672	10,722
(1)現金を伴う支出 (千円)	11,238	11,867	10,683	10,721
事業費(支出済額-②報酬合計)	10,274	10,900	9,719	9,749
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	964	967	964	972
①職員給与合計(常勤)	910	922	917	914
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	54	45	47	58
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-3	-25	-11	1
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-3	-25	-11	1
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	26.43	27.70	24.86	24.76
	425,105	427,501	429,317	433,060

成果実績	指標名	辻堂市民図書館資料購入数	目標	6,500	単位	6,400	単位	5,950	単位	5,750	単位
					点		点		点		点
	実績	6,415	単位	6,642	単位	5,998	単位	5,812	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		1,751.36		1,782.90		1,779.26		1,844.80		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2)	(1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	湘南大庭市民図書館資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	04	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 12 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	湘南大庭市民図書館の図書館活動に必要な図書資料及び視聴覚資料を購入する。						
対象	1. 個人	個人				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 9,727 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	9,727 千円	図書・視聴覚資料等の資料購入
財源内訳	R元年度 支出済額 9,727 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金)	1,615 千円			
一般財源	8,112 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政費用 A	19,883	8,751	10,642	10,700
(1)現金を伴う支出 (千円)	19,916	11,810	10,653	10,699
事業費(支出済額-②報酬合計)	10,271	10,843	9,689	9,727
償還金利息	0	0	0	0
人件費合計(①+②+③)	9,645	967	964	972
①職員給与合計(常勤)	9,101	922	917	914
②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
③退職金相当額	544	45	47	58
(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	-3,059	-11	1
①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-33	-3,059	-11	1
③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	46.77	20.47	24.79	24.71
	425,105	427,501	429,317	433,060

成果実績	指標名 湘南大庭市民図書館資料購入数	目標	6,400	単位 点	6,500	単位 点	5,950	単位 点	5,950	単位 点
		実績	6,509	単位 点	6,570	単位 点	5,976	単位 点	5,967	単位 点
		数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			3,054.69		1,331.96		1,780.79		1,793.20	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	図書館資料の収集に関すること(図書)	無	無	3	
24	図書館資料の収集に関すること(視聴覚)	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	市民図書室資料購入費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	002	説明	05	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	11市民図書室の図書館活動に必要な図書資料等を購入する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	1. 収集方針に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。 2. 利用者の要望に基づく資料を、年間を通じて定期的かつ計画的に購入した。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 10,825 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	10,825 千円	図書等の資料購入
財源内訳	R元年度 支出済額 10,825 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 (繰入金)	3,073 千円			
一般財源	7,752 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	1.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	20,247	21,115	20,101	20,553			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	20,280	21,366	20,209	20,544			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	10,635	11,699	10,573	10,825			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	9,667	9,636	9,719			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	9,219	9,167	9,141			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	448	469	578			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	-251	-108	9			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	-33	-251	-108	9				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	47.63	425,105	49.39	427,501	46.82	429,317	47.46	433,060

成果実績	指標名 市民図書室資料購入数	目標	8,100	単位 点	8,100	単位 点	5,300	単位 点	7,000	単位 点
		実績	8,115	単位 点	8,606	単位 点	5,335	単位 点	7,482	単位 点
		数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ市民の豊かな生活に貢献した。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			2,495.01		2,453.52		3,767.76		2,746.99	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるとともに、様々な資料があるなかで、図書館として必要な資料の選定や購入が年々難しくなっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	利用者のニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、体系的な資料の収集・保存を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	資料を提供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することができ、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	厳しい財政状況の中で、必要最低限の予算を確保しながら、的確な利用者ニーズの把握に努め、収集方針に基づく資料の収集・保存の精査に徹するとともに、図書館資料全体の有効活用を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
45	市民図書室資料の収集、整理及び保存に関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	視聴覚費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 56 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	図書館の視聴覚機材の貸出や鑑賞コーナー等の視聴覚機器の維持管理及び整備を行う。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法, 藤沢市図書館に関する条例					
事業実施内容	1. 視聴覚資料を鑑賞するための視聴覚機器の貸借及び保守点検を行った。 2. 貸出用の視聴覚機材の整備, 修繕等を行った。 3. 16ミリ映写機操作技術認定講習会を開催した。(参加者数延べ34人) 4. 視聴覚資料を購入した。 5. 映画会等を開催した。(66回)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 東通産業株式会社 神奈川支店) (委託等内容 : 視聴覚システム保守点検整備業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 2,104 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,099 千円	貸出用CD・DVD, 16ミリ映写機等修繕費
		使用料及び賃借料	706 千円	視聴覚設備機器賃借料
		委託料	269 千円	視聴覚システム保守点検業務
報償費	30 千円	16ミリ映写機操作技術講習会等謝礼		
財源内訳	R元年度 支出済額 2,104 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	2,104 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
 ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,721	7,317	6,721	6,968			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,737	7,443	6,775	6,964			
	事業費(支出済額－②報酬合計)	1,914	2,609	1,956	2,104			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①＋②＋③)	4,823	4,834	4,819	4,860			
	①職員給与合計(常勤)	4,551	4,610	4,584	4,571			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	272	224	235	289			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	-126	-54	4			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-16	-126	-54	4			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.81	425,105	17.12	427,501	15.66	429,317	16.09

成果実績	指標名	16ミリ映画等映画会開催回数	目標	111	単位	109	単位	84	単位	66	単位
			実績	111	単位	109	単位	84	単位	66	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		映画会等を行うことにより、図書館サービスが充実し、市民の豊かな生活に貢献した。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		60,549.55		67,128.44		80,011.90		105,575.76			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 既存の資料・機材・設備の老朽化。 限られた予算の中での利用者の要望に基づく資料購入。
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 資料・機材等の保守点検及び修繕を実施する。 利用者のニーズに合った資料購入とともに将来の利用を見据えて体系的な資料収集を行う。 既存資料の有効活用を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	視聴覚資料鑑賞コーナーの適正な維持管理・運営や、16ミリ映画会等の開催により、図書館サービスが充実し、市民の豊かな生活に貢献した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	社会情勢の変化に合わせた、視聴覚機材の維持管理及び整備とともに、的確な利用者のニーズの把握に努めながら、視聴覚機材の貸出や視聴覚資料の鑑賞を通じて、図書館サービスの充実を図る。 視聴覚資料の提供については、様々な媒体、形態での提供が可能であるかどうかを研究し、利用者へ有効な資料の提供に努める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
6	視聴覚機器の維持管理及び修繕に関する事	無	無	1	
10	施設の使用許可及び貸出，管理に関する事	無	無	1	
24	図書館資料の収集に関する事（視聴覚）	無	無	3	
27	図書館資料の整理及び保存に関する事（録音資料）	無	無	1	
28	図書館資料の整理及び保存に関する事（映像資料）	無	無	1	
30	視聴覚機材の貸出及び管理に関する事	無	無	1	
31	視聴覚資料の収集，寄贈，整理及び保存に関する事	無	無	1	
32	視聴覚資料の貸出及び管理に関する事	無	無	1	
35	映画会の開催に関する事	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	障がい者・高齢者宅配サービス事業費										担当課	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	図書館に来館することが困難な障がい者や高齢者に対し、市民ボランティアの協力により、各家庭へ図書館資料を宅配する。						
対象	1. 個人	市民				433,060 人	
根拠法令等	法律等	図書館法					
事業実施内容	令和元年度実績: 宅配サービス利用者数 103人, 活動ボランティア数 92人, 延べ利用者数 1,884人, 貸出資料数 7,711点						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 356 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	264 千円	消耗品・大活字本の購入
		報償費	92 千円	宅配協力者への謝礼
財源内訳	R元年度 支出済額 356 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	356 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	5,438	5,350	5,323	5,220
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,454	5,476	5,377	5,216
	事業費(支出済額-②報酬合計)	631	642	558	356
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,823	4,834	4,819	4,860
	①職員給与合計(常勤)	4,551	4,610	4,584	4,571
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	272	224	235	289
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-16	-126	-54	4
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-16	-126	-54	4
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	12.79	12.51	12.40	12.05	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	宅配サービス利用者数	目標	90	単位	95	単位	95	単位	95	単位
			実績	86	単位	96	単位	108	単位	103	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			63,232.56	55,729.17	49,287.04	50,679.61					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	宅配ボランティア登録者の地域的な偏りが課題となっている。
(2) (1)解決のための今後の取組	広報ふじさわ・HPでの周知を引き続き行う。また市内の団体・施設等に対してポスター掲示やチラシ配布を依頼するなど，積極的にPRを行い，市内全域で利用者・ボランティアの登録を促進する。今後も団体・施設等に協力を仰ぎ，宅配サービスの利用を促進する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用が可能となり，市民サービスの更なる向上が図られている。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し，自宅に居ながらにして図書館利用することができるよう，市民ボランティアの協力による図書館資料の宅配サービスを引き続き行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	宅配サービスに関すること	無	無	3	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	子ども読書活動推進事業費										担当	部課名	生涯学習部総合市民図書館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	市川 雅之	電話	6755

1. 事業概要

事業開始年度	平成 18 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	「藤沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、豊かな環境の整備を進め、子ども読書活動の推進を図る。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	子どもの読書活動の推進に関する法律					
事業実施内容	1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業を、1歳6か月児検診時に合わせて実施した。(活動ボランティア延べ546人 配付人数3,326人) 2. 子どもや保護者が集う施設へブックリストの配布及び資料の提供を行った。(配本施設85施設) 3. 乳幼児とその保護者を対象とした推薦絵本等のリーフレットを作成し、保健事業時等に配付した。 4. 図書館・図書室おはなし会ボランティア、ブックスタートボランティアなど、子どもの読書活動推進に関わるボランティアのための交流会及び研修会を開催した。(交流会開催回数4回・研修会開催回数2回) 5. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座等を開催した。(開催回数2回) 6. 藤沢市子ども読書活動推進計画の改定に係る策定委員会を開催した。また、市民を対象に「子どもの読書に関するアンケート調査」を実施し、報告書を作成した。(開催回数2回)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 4,750 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		報酬	112 千円	藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会委員報酬
		報償費	278 千円	ブックスタートボランティア・研修会等保育ボランティアへの謝礼
		需用費	4,262 千円	ブックスタート配本用絵本購入費、リーフレット作成費
		役務費	98 千円	藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会速記料、アンケート返信郵便料
財源内訳	R元年度 支出済額 4,750 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 (繰入金)	1,600 千円	
		一般財源	3,150 千円	

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	令和元年度
正規職員等	1.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
	行政費用 A	14,681	18,372	14,745	15,450			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	14,714	17,687	15,488	15,440			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,069	5,120	4,888	4,750			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	9,645	12,567	10,600	10,690			
	①職員給与合計(常勤)	9,101	11,985	10,084	10,055			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	544	582	516	635			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-33	685	-743	10			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-33	685	-743	10			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	34.53	425,105	42.98	427,501	34.35	429,317	35.68	433,060

成果実績	指標名	目標	48	単位 回	48	単位 回	48	単位 回	48	単位 回	
		実績	48	単位 回	48	単位 回	48	単位 回	48	単位 回	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		1. 絵本を介した幸せな子育ての実現 2. 生涯にわたる読書習慣の獲得(読書は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」-子どもの読書活動の推進に関する法律第2条) 3. 行政・市民・地域の子育て支援のメッセージを、全ての保護者に伝えることが可能								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		305,854.17		382,750.00		307,187.50		321,875.00		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各種ボランティア交流会及び研修会等の充実 学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の周知方法等についての検討 「ふじさわ子ども読書プラン2020第3次藤沢市子ども読書活動推進計画」の推進と年度毎の適切な進捗管理 「藤沢市子ども読書活動推進計画」改定
(2) (1)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 関係各課との連携によるブックスタート事業及びフォローアップ事業を実施する。 各種ボランティア交流会及び研修会の充実に努める。 藤沢市子ども読書活動推進会議を開催し、事業の進捗管理に努める。 「藤沢市子ども読書活動推進計画」を改定するため、策定委員会を開催する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、ブックスタート事業、各種保健事業時等における啓発リーフレットの配付、学校図書館及び地域の子どもに関わる施設との連携事業の実施、対象年齢に応じたブックリストの配布、地域の子どもに関わる施設への配本等、子どもの読書活動の推進に関する事業を実施した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため、子ども及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に子どもが本に会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、地域の子どもに関わる施設への配本など、読書環境の整備を推進する。 ブックスタート事業については、他の自治体におけるふるさと納税などの活用事例について調査し検討する。 「第4次藤沢市子ども読書活動推進計画」の策定を行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
41	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市ブックスタート)	無	無	1	
42	子ども読書活動の推進に関すること(藤沢市子ども読書活動推進計画)	無	無		2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------